

通貨 Watcher

ブラジル・リアル



株式会社フィスコ

2012/1/30

為替相場

先週のブラジル・リアル相場

取引レンジ 43.77 円 - 44.78 円

リアルは対円で上昇。12月の失業率の低下を好感したリアル買いが加速した。12月の失業率は4.7%と市場予想の4.9%を下回り、12月分としては過去最低を記録した。2011年通年での失業率は6%となり、2002年に政府が統計を開始以来で最低を記録。景気が減速する中、依然、雇用市場が強い証拠となった。

今週の見通し

1月30日 - 2月3日

想定レンジ 43.50 円 - 45.50 円

上昇継続を予想。米国の低金利が資本の流入に拍車をかける。米連邦準備制度理事会(FRB)は連邦公開市場委員会(FOMC)でゼロ金利政策の長期化を決定し、追加緩和の可能性を示唆した。また、日本経済への懸念に円売りが優勢となることも、相場を押し上げる。ただ、政府のリアル高是正措置への警戒感が上値を抑える。

◆ 買い要因

- ・金融取引税の引き下げ
- ・米国の金融緩和策は2013年半ばまで継続へ
- ・ブラジル中銀は過度のリアル安を阻止する構え



◆ 売り要因

- ・ブラジル中銀は過度のリアル高を阻止する構え
- ・ブラジル中銀の政策金利は10%を下回る可能性
- ・世界経済の成長鈍化、欧州の債務問題への懸念



債券市場動向

先週の債券相場

2年債利回りは低下。追加利下げ観測を受けて、債券利回りが低下した。中央銀行(中銀)は、1月の金融政策決定会合の議事録の中で、政策金利が一桁台まで低下する可能性が高いとの認識を示した。また、ルセフ政権は中銀に利下げ余地を与えるために、歳出削減を計画していると報じられたことも金利の低下につながった。

今週の見通し

追加利下げ観測を受けた利回りの低下が継続すると予想。景気動向を見極める上で1月の製造業購買担当者指数(PMI)、12月の鉱工業生産に注目が集まる。PMIは、12月の時点で活動の拡大と収縮の境目となる50を7ヶ月連続で割り込んでいる。政府が4%成長を目指した景気支援措置を発表すると、低下が一段落する。

ディスクレマー(免責条項)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値および商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容および情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。